令和5年度 公益社団法人生駒市シルバー人材センター事業報告

概 要

令和5年度の受託事業実績は、2億1602万3683円、前年比100.4%で前年とほぼ同水準の結果となりました。「請負・委任」での就業延人数は45,203人日、前年比97.0%となりました。雇用を要する「派遣」の就業延人数は3,464人日で前年比112.4%の結果でした。また、3月末日の会員数は570人で前年から12名増加し、就業延べ人数以外は前年を上回る結果となりました。

決算数値による活動状況推移（各年度3/31時点）

項 目	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
会員数	634人	561人	545人	558人	570人
男	471人	426人	412人	412人	410人
女	163人	135人	133人	146人	160人
平均年齢	74.7歳	75.0歳	75.1歳	75.2歳	75.3歳
就業人員	461人	423人	429人	443人	462人
就業率	72.7%	75.4%	78.7%	79.4%	81.1%
受注件数	3,092件	2,939件	2,809件	2,635件	2,254件
契約金額	231,959千円	207,125千円	208,781千円	215,012千円	216,023千円
うち公共	94,952千円	75,505千円	77,926千円	76,090千円	81,704千円
経常収益	258,090千円	232,837千円	234,338千円	241,060千円	241,837千円
経常費用	251,450千円	237,812千円	233,672千円	236,151千円	240,052千円
差引収支	6,640千円	△4,975千円	666千円	4,909千円	1,784千円

《 参考 》

駐輪場収支	△1,812千円	△3,083千円	△2,331千円	469千円	△1,227千円
-------	----------	----------	----------	-------	----------

以下、項目ごとに報告いたします。

1. 組織運営

令和5年度は設立30周年の節目の年でした。それを記念して令和6年1月23日に生駒市図書館において設立30周年記念式典を開催いたしました。

報告第1号 令和5年度事業報告について

当日は、小紫市長、吉村市議会議長、奈良県シルバーの宇田会長にもご来賓として出席いただきました。また多くの会員も出席いただき、盛大に催すこととなり、30周年を記念するに相応しい式典ができたと思います。

シルバー人材センターの事業運営に関しては、生駒市から指定管理で受託している生駒駅前自転車駐車場全体の利用料金収入は2,360万8,490円、令和4年度比で約98%となり前年を下回り、収支としては約120万円の赤字となりました。しかしながら、受託事業全般も前述のとおり前年度比で70万円ほど上回る結果となりました。会員就業率においても、会員数が増加しても就業率がアップできるまでになり、会員登録後すぐに就業に就いていただく取組が奏功しているものと思われます。また会員数も2年連続で純増する結果となり、シルバーの存在も徐々に認知されてきたものと思われます。

委員会活動として、令和5年度は事業企画委員会、広報委員会、女性委員会の3つの委員会が活発に活動できました。事業企画委員会では、複数回の講習会やハイキングなどの企画実行、女性委員会も30周年記念式典の来場プレゼントを手作りで制作いただき、式典参加者からも大好評を得ました。広報委員会も記念誌製作に当たっての写真撮影などを積極的に活動されました。目的は、「会員主体のセンターづくり」、「会員拡大」、「就業機会の拡大」です。今後も各委員会の活動を通じて、会員拡大や就業機会の拡大をはじめ、会員と事務局、会員同士の繋がりを高めてまいります。

2. 会員の拡大

全国的にも会員の高齢化や会員数の減少が進む中において、会員の拡大はシルバー人材センターの大きな課題の一つです。令和5年度も引き続き、生駒市広報誌「いこまち」への綴りファイルへの広告掲載など実施しました。新規の入会説明会は定期開催を月2回実施しました。また新規入会の会費額を10月以降から段階的な引下げ施策、夫婦会員であれば会費を半額にする施策も行うことで、年間通じて入会者があり、会員数の増加に繋がったと思われます。

これにより、令和3年度から2年連続で前年度を上回る会員数の結果が出すことができました。全国的に会員数の減少する中において、会員数を増加できていることは喜ばしいことでもあります。これまでの取組は継続して行い、令和6年度も会員数が1名でも多くなるように女性会員の増加施策を中心に新たな取組を行いたいと思います。

3. 就業機会の拡大

令和5年度も前年度から引き続き屋外作業については、就業会員の高齢化と就業人数が思ったほど増えず厳しい状況です。ご依頼いただく生駒市内の世帯も高齢化が進み、剪定等の屋外作業の依頼は増えていますが、それに応えられるだけの就業会員を十分確保ができておらず、新規の受注を止める等の受注調整を行わざるを得ない状況にあります。以前から会員拡大と就業拡大は両輪であると言われていますが、令和2年度以前の会員の減少が大きく影響しています。前段での会員拡大では会員数は前年度を上回り着実に良い方向には進んでいますが、特に屋外就業人数における状況はまだ好転しているとは言い難い状況です。屋外作業に従事する会員を一人でも多く増やし、できるだけ現在の受注件数の確保を行ってまいります。

また、派遣就業については令和5年度実績では微増でした。受注件数等はまだまだ少ないものの、取組余地のある分野ですので令和6年度も引き続き就業場所の拡大・確保を推進してまいります。

4. 安全・適正就業の徹底

令和5年度も「安全就業」のため、安全委員会の開催と安全パトロールを実施しました。また例年同様「熱中症対応マニュアル」に基づき「熱中症指数計」を会員に貸与し、夏季屋外作業への安全就業の推進を図りました。その結果、軽い熱中症に罹る会員もいましたが、重篤な症状に至ることはありませんでした。

また自動車の運転を基本とする公共業務に就業する会員に対して、昨年度と同様に運転適正検査の受講を必須としました。高齢者の自動車運転での事故が多発している昨今、現状の運転操作について客観的な検査方法で診断してもらい、会員がそれぞれの自分自身の弱点を知り、過信することのないよう慎重な運転を日ごろから行うきっかけづくりを行いました。

5. 講習会の実施

令和6年2月には公共業務就業会員及び派遣就業会員向けに接遇研修を開催しました。これまでと同様にシルバー基本理念の「共働」「共助」を基に、現役時代に研修講師等の経験のある会員が実際に講師となり、会員同士で学び合う環境づくりを図りました。対人関係の業務も多く扱うことから、一人でも多くの

報告第1号 令和5年度事業報告について

会員に受講するように働きかけ、今後もサービス向上を目指してまいります。

また高齢者による交通事故等が全国的に多く発生している状況から、会員に対する安全運転をはじめとする交通安全の講習も企画してまいると共に健康増進などに関する講習会を企画していきたいと考えています。